

児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届

現在、児童扶養手当・特別児童扶養手当を受けている方で、引き続き受給資格がある方は現況届を提出しなければなりません。なお、受給要件がありながら申請していない方などは左記係まで問い合わせください。

■届出期間／

児童扶養手当：8月1日(水)～31日(金)

特別児童扶養手当：8月10日(金)～9月10日(月)

■申請先・問い合わせ／

役場住民課社会福祉係

(1階)②番窓口 ☎485-2111 内線122

児童扶養手当とは ●●●●●

次の条件に当てはまる児童（18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者）を監護している父または母、父母に代わって養育している方に支給されます。

- ①父母が離婚後、父または母と生計を同じくしていない児童
- ②父または母が亡くなられた児童
- ③父または母が重度の障がいにある児童
- ④父または母の生死が明らかでない児童
- ⑤父または母から1年以上遺棄されている児童
- ⑥父または母が1年以上拘禁されている児童
- ⑦母が婚姻によらないで生まれた児童
- ⑧父母とも不明である児童

特別児童扶養手当とは ●●●●●

身体や精神に障がい（法律の定める程度）のある満20歳未満の児童を養育する父または母、父母に代わって養育をしている方に支給されます。



初級者・中級者のための水泳教室を開催します

初級者から中級者を対象に、講師が泳ぎのフォームをチェックし、改善すべきポイントアップのポイントをアドバイスします。水泳がもっとうまくなりたい方、自己流で泳いでいる方などは、ぜひこの機会に参加しませんか。



■日時・場所／

- ・磯分内水泳プール…8月8日(水)
- ・標茶水泳プール…8月9日(木)、11日(土)
- ・虹別水泳プール…8月10日(金)

◎午後7～8時まで

■対象／町内在住16才以上の方

※18才以下の方は保護者の同意が必要です。

■参加条件／

- ・初級…水に顔をつけることができる、浮くことができる、潜ることができる、バタ足で進むことができる。
- ・中級…ある程度の泳ぎができる、息つきができる。

■定員／10名程度

■講師／スポーツ推進委員

■負担金／プール利用料・受講料は無料。傷害保険料は自己対応

※保険加入を希望される方は、下記へ問い合わせください。

■申込締切／

- ・磯分内教室…8月7日(火)
- ・標茶教室…8月8日(水)
- ・虹別教室…8月9日(木)

■申し込み／農業者トレーニングセンター・磯分内水泳プール・虹別水泳プール

■問い合わせ／農業者トレーニングセンター (☎485-2434)



自然溢れる塘路が
大好きです。



しのつか みか
篠塚 満香さん
(塘路)

今回は塘路に「とうろ整体院」をオープンした篠塚満香さんを紹介합니다。

篠塚さんは広島県出身。釧路湿原を見たくて塘路を訪れたとき「自然の雄大さと独特の景色に魅せられました」と塘路の魅力に引かれたとのこと。それからは何度も塘路を訪れ、宿泊施設のお手伝いやカーナビガイドとして働きながら自然を満喫していたそうです。

移住される前は、千葉県のリラクゼーション施設で働いていた篠塚さんでしたが、昨年3月の震災の影響で仕事がなくなり、開業を決意。「最初はどこに行こうか迷いました。でも塘路はずっといいと思える場所でしたし、何度も来ているうちに知り合った人たちは、皆さんとてもいい

人たちで、移住について相談すると、家探しを手伝ったりしてくれました」と地域の人たちとの結びつきが移住する後押しとなったことを話してくれました。

とうろ整体院では肩、腰などのマッサージだけでなく、お腹の施術も行っています。「お腹の施術は、お腹のポインントを押して内臓を元気にする施術です。食生活や生活習慣が乱れると内臓が冷えて固まってしまいそれが肩こりや腰痛の原因になることがありますので外側だけでなく、内側もほぐします」と、痛いところだけではなく体全体をケアすることの大切さを教えてくれました。

「まだ始めたばかりですけど細く長く、ずっとここでやっていきたい。地域の人だ

けでなく、観光で来た人にもなじみやすいお店になれば嬉しいです」とこれからの抱負を笑顔で語ってくれました。



お世話になりました

カリ・ヤヒロさん ALT(外国語指導助手)



平成22年度からALT(外国語指導助手)として本町の子どもたちに英語を教えたカリ・ヤヒロさんが2年間の任期を終えて帰国します。

本町で暮らした2年間の印象を聞くと「標茶の子どもたちはいつも楽しく、元気に、一生懸命英語を勉強してくれました。子どもたちは日本語を教えてくれたりもしました。町民の皆さんも親切で優しい人たちばかり。2年間本当にお世話になりました」と話してくれました。カリさんにとって、子どもたちや町民との交流がとても楽しく、貴重な経験になったそうです。

標茶の風土も貴重な体験になったそうで「故郷のカリフォルニアは一年を通して温暖な気候なので、雪は標茶に来て初めて見ました。夏は冬の寒さからは想像できないくらい暑かったですし、秋には紅葉も初めて見て、冬はウィンタースポーツも体験できました」と標茶の四季も満喫したことも話してくれました。「標茶町はすごくいい町。この町でALTとして活動できて、とても良かったです」とカリさんは最後まで笑顔で本町への感謝を伝えてくれました。